

委員会議事録

【開催概要】

会議名称	第4回四万十町男女共同参画推進委員会
開催日時	令和6年2月19日(月)13:30～
開催場所	四万十町役場 本庁東庁舎 2階 多目的小ホール
出席委員 (名簿順表記)	・牧野利恵子委員 ・吉村和子委員 ・田邊章二委員 ・尾崎弘明委員 ・山本由美委員 ・野村宏委員
欠席委員 (名簿順表記)	・山下建委員
事務局	・町民課:2名 ・(株)ぎょうせい:3名

1. 開会

●事務局

定刻となりましたので、令和5年度第4回四万十町男女共同参画推進委員会を開催いたします。
初めに委員長よりごあいさつをお願いします。

2. 委員長あいさつ

●委員長

皆さんこんにちは。本日雨の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は第4回で、最終の会となりますが、いろいろなご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●事務局

それでは、進行を委員長の方へお渡しいたします。よろしくお願いいたします。

3. 議題

・第3次四万十町男女共同参画計画(案)について

●委員長

それでは、次第に従い、進めてまいりたいと思います。本日の議題は第3次四万十町男女共同参画計画(案)についてです。先ほども言いましたが、本日は最終の協議となりますのでよろしくお願いいたします。それでは事務局より説明をお願いいたします。

●事務局

・計画(案)について説明

●事務局:課長

補足になります。今日は、前回の会議からの間に意見公募手続きで、意見をいただきました。この意見については0件ということで終了しております。

この取りまとめの間に修正を行って反映させたものを、先ほどご説明させていただきました。

本日の会議については、最終的にこうした方がよいというご意見ををお願いします。

●委員長

事務局から説明がありました。変更点等もありましたが、委員さんの中で気になる点があれば、意

見をいただきたいと思います。

●山本委員

56 項の「DV 関係の相談をどこにしたら良いか知っている町民の割合」ですが、目標値が 0%というのをもう少し高い数値にした方が良いと思います。

●委員長

山本委員から 56 項の「DV 関係の相談をどこにしたら良いのか知っている町民の割合」で、令和 5 年度は 36.7%で、令和 10 年度は 0%となっている。ここは間違いでしょうか？

●牧野委員

同じく 56 項の「防災会議における女性委員の割合」は、現在が 16.7%で、令和 10 年度は 10%となっている、これも間違いではないでしょうか。

●事務局

前回会議で、この目標値は 25%を目標値とするとしていますので訂正をします。

山本委員からご意見に関して、この現状値の 36.7%は知らない人の数字になります。「DV 関係の相談をどこにしたら良いのか知っている町民の割合」ですので、63.3%が知っている人の割合になります。そして、目標値としては 100%と数値を訂正します。

●委員長

7 番についてはこの令和 5 年度も 63.3%へ変えるということでしょうか。

●事務局

はい。これも現在の 36.7%が知らない人の割合になります。元々、ここは知らない人の割合という文ではわかりづらいという話があったので、知っている町民の割合にしようということになりましたので、令和 5 年度も 63.3%になります。

●委員長

そして同じく 10 年度は 100%にするということですか。

●事務局

はい。

●委員長

防災会議における女性委員の割合も 25%にするということによろしいですか。その他、気になった点がありましたらそこを見て行きたいと思います。

●牧野委員

育児休業と介護休業のモニタリング指標を削除するというのと、56 項の 9 と 10 を削除する趣旨をもう一度説明お願いできますか。

●事務局

育児休業では、6 月に行った町民アンケートの数字を採用しようと思っています。その町民アンケートで出てきた数字というのが、「回答してくださった方全員」のうち、「育児休業又は介護休業を取得された方」の割合が入ってくるようになります。ただそうなると、その「育児休業の取得者数の割合」というのは、本来、「育児休業を取る資格ができた人」が分母となり、そのうち「実際に育児休業又は介護休業を取得した人数」という割合がいいのではないかという意見がありました。

しかし、実際その「育児休業を取る資格ができた人」を拾い出すことが難しいというのがあって、削除する方向で検討しています。

●牧野委員

56 項で育児休業や介護休業というのは進めていくことが大事だとしているので、現状値が難しくても、目標値としては出した方がいいと思います。

●事務局

ここについては、本来、できるだけ見える形の数字にしようと思ったときに、アンケートの段階で育児休業や介護休業を取れる状況、状態でしたかという質問の後で、その人が取れたかというのを聞いていれば、数値として正確に出せたと思います。

今の状態では、その手前のワンクッションが抜けている状態であり、あったかどうかということしか聞いていませんでしたので、その数字だけを載せてしまうと、取れるような状況になかった人まで分母に入ってしまったままです。本当に取りたい人が取れている状態があるべき姿ですので、それを今回のアンケート調査だけでは出すことができず悩ましいところではありました。

結果的に数値として示すことが難しいところがあり、これは次回のアンケートで修正すべき課題と思っています。

●副委員長

現状値は載せられませんが目標値として掲げて次回のアンケートの中で拾えるようにすれば良いと思います。

●事務局

例えば、取得できる状況にある人が 100%取れるのを目指しますという書き方は可能です。現状はわかりませんが、目標としてここに書くということが現状でできる答えかと思います。

●牧野委員

今は、男性も女性も育児休業、介護休業というのは両方が進めていく時代なので、やはり目標として記載した方がいいと思います。

●委員長

今のお話の中で、モニタリング指標としては弱いので削除となりましたが、副委員長と牧野委員も言われたように、数値目標についてはこの二つの項目は大事なことでもあるので、据えていくとお話がありました。それがよろしいでしょうか。

●野村委員

今のように、モニタリング指標は削除したとしても、目標は残すべきだと思います。

●委員長

田邊委員もよろしいでしょうか。

●田邊委員

はい。

●委員長

ではこの数値目標については残していくということをお願いします。

●事務局

数値目標は、現状値として出すことは難しいので、目標値だけを載せ、取得した人の割合としては 100%を目標とします。

●牧野委員

本当にそうしてもらわないと、職場環境もそれに合わせて作っていくということが大事で、本人が取るといふことと、職場環境を整えていくということが大切です。

●事務局

育児休業、介護休業の所得率は 100%ということで承知しました。

●野村委員

59 項の LGBTQ の問題について、最近高知新聞で大月町での女性同士のカップルの記事が掲載されていて、大月町ではファミリーシップ、パートナーシップ制度を正式に導入したという記事がありました。四万十町でも今後、そういう制度を検討するという予定があるかどうかというのを知りたいです。

いずれ検討の余地があるようでしたら、次回の計画にそういったことも入れるといいのではないかなと思います。

●事務局

四万十町として、今のところパートナーシップ制度を入れるという話は特に進んではいません。

ただ、他の自治体は、どんどん進めている話なので、積極的にできるのであれば進めていければいいと思いますが、これからの課題ということになります。

●牧野委員

今回のアンケートでそれは問われていませんでしたか。

野村委員の言われた、これからの見直しやこの計画の進捗状況を見ながらそういう意見というのは今後も出てくると思うので、そのときに途中で見直しというところで考えていただきたらと思います。

●事務局

パートナーシップ制度ですけど、6 月に行った町民アンケートの方で、「内容まで知っている」という人が 14.6%、「見聞きしたことがある」という人が 49.8%ですので、6 割ぐらいの方が聞いたことがある、内容まで知っていると回答しています。

●事務局

そこに関しまして、昨年これに関する法律ができています。世の中の流れとしては、少数の方にもできるだけ配慮していくとなっております。先のパートナーシップ制度の導入等も一つの方法としては出てくるかと思えます。

今回のアンケートについては、用語の認知度だけしか確認はしておりませんので、町民の関心が高まり、事業としてやった方がいいのではないかという意識について、今後の意識調査の中でお聞きしながら総合的に判断をするよう考えていかなければいけないと思っています。今後の、これからの課題の一つではあるという状況です。

●副委員長

48 項のハローベビースクールの参加者数の件です。数値として割合が出ていますが、参加者数になっているので、ここの表記を検討していただきたいことと、これがまだ平成 30 年度には事業としてスタートしていなかったのか、もし事業としてスタートしていなければ、54 項にあるような表記にしていた方が誤解を生まないのではないかと感じました。

●事務局

ありがとうございます。ハローベビースクールの参加者数ですが、担当課とも調整を行い、全体の対象者のうち参加された方という書き方に変えようと思っています。その数値も訂正します。

平成 30 年度はハローベビースクールをまだ開始していないので、54 項のような書き方に変更するようにいたします。

●副委員長

52 項の各種相談会やカウンセリングの実施回数のところ、気になったのが学校教育課で 16 件だ

ったものが、令和5年に0件となっています。時節柄0になるのはどういうことかと思ったので、もう一度確認をしていただけたらと思います。

●事務局

こちらは担当課に確認をして、もしかしたら数字が変わるかもしれませんが、拾い方等確認をします。

●副委員長

56項の7番、DV関係の相談をどこにすれば良いか知っている町民の割合というところがありますが、せっかく目標として載せるのであれば計画の中に相談先の一覧を添えていけば良いのではないかと感じました。

●事務局

ありがとうございます。今のDV関係の相談先は、県の高知男女共同参画プランの冊子もDVの相談窓口というので電話番号などを載せています。そのような感じでDVや子どもの虐待SOSなどの電話番号を資料編に掲載するようにします。

●委員長

その他ありませんか。では最終確認をさせていただきたいと思います。第3次四万十町男女共同参画について、ご指摘があり訂正するところもありますが、大まかな内容として協議した内容で決定するというご異議はございませんか。なければ挙手をお願いいたします。

●委員

・全員異議無し

●委員長

ありがとうございます。それではこれで第3次四万十町男女共同参画計画についてはこの内容で決定したいと思います。ありがとうございました。

4. その他

●委員長

その他、事務局よりお願いいたします。

●事務局

2点ございます。

まず表紙案をカラー刷りでお配りしていますのでお知らせしておきます。

もう1点が、今後のスケジュールです。先ほど委員長もおっしゃったとおり、本年度の推進委員会は本日で最終となります。

今後、こちらの計画については3月6日から開かれる3月議会へ計画の策定について上程し、その後印刷に入り、3月末までには冊子が出来上がる予定になっています。

この推進委員会の任期は2年になっており、令和7年7月31日までとなっております。また来年度もお世話になりますが、来年度の開催は1回～2回の開催になると思われます。その際は、日程調整等でご連絡をさせていただきます。

計画は、概要版も作るようになっておりますので、完成したら皆様にお配りしようと思っております。

今年度はお忙しいなか、複数回にわたり参加いただきありがとうございました。

●牧野委員

いろいろな団体で総会などがあつたときには、ぜひこの男女共同参画計画ができたという説明をいただきたいと担当さんをお願いをしています。よろしく申し上げます。

●事務局

ぜひその機会がいただけるのであれば、アピールしていきたいと思っています。

●事務局:課長

最後の会議ということで、皆さま、お忙しいなかご参加いただき、貴重なご意見等いただきましてありがとうございました。短い会の中でこの計画を完成させるというのは大変なことです。おかげさまで私が見る限り、前回の計画書より良くなっているのではないかと考えております。これも皆様のおかげでございます。引き続き、ご協力の程お願いいたします。ありがとうございました。

5. 閉会

●委員長

本日の議事は全て終了いたしました。以上をもちまして、令和5年度第4回四万十町男女共同参画推進委員会を閉会いたします。皆さん、ありがとうございました。

以 上